

落花生を用いた画期的な新商品開発と安定供給体制を構築

課題

生き残りをかけた商品開発と生産性の向上

昭和21年に創業した加瀬商店から始まった株式会社セガワ。落花生の加工販売を手がけ、平成元年に法人化。平成16年には匝瑳工場の稼働も開始した。

これまで、同社を含む落花生の加工販売事業者は、落花生そのものや、豆をチョコなどでコーティングする程度の簡単な加工品を主力商品としてきたが、若い世代向けの魅力的な商品がなく、主要顧客が50代以上という状況が続いていた。

また、原料である落花生は、価格が相場に左右されてしまうため、収入が安定せずに廃業してしまう生産者が多く、高齢化による生産農家の減少も課題とされていた。

さらに、業界全体の生産工程の課題として、目視による豆の選別作業もボトルネックとなっていた。同社も目視では1時間に3.75kgの選別が限界であり、コストの増加や加工時間の増加にともなって豆が酸化するという、品質の低下も大きな悩みだった。

支援

業界全体の底上げに貢献

同社の相談を受けた匝瑳市商工会は、千葉県産落花生（ピーナッツ）を用いた新商品開発と製造効率の向上を実現するため、ものづくり補助金の申請支援を行った。

さらに、経営革新計画の申請支援も実施。これにより、事業拡大だけでなく、事業を通じて目指していきたいことが明確になり、小売りだけでなく業務用商品を手がけるという方向性が見えてきた。

また、ものづくり補助金の再度の採択（旭市商工会より申請）も得たことで、ピーナッツの加工品である「Bocchi」ブランドの商品展開と、千葉県の落花生の新たな提案を若年層に実施できるようになった。小売りについては、駅前立地の商業施設など、従来と異なる販路の開拓につながった。

現在ではパン店や、イタリアンのシェフ、フレンチのシェフ、パティシエといった事業者とのつながりができてきており、従来は縁がなかった層との取り引きも行っている。最近では、JR新宿駅新南口の商業施設「NEWoMan」内の「ガーデンハウスクラフツ」にて取り扱っている「Bocchi」のピーナッツペーストが小売り用のビンと業務用の双方で人気を博



同社製品のピーナッツペースト

しており、「中川政七商店」「AKOMEYA TOKYO」「のもの」など、食のセレクトショップでの取り扱いに加え、国内屈指のリゾート会社、星野リゾートにも業務用素材として採用されている。

さらに、目視で行っていた選別工程については、フルカラー色彩選別機を導入することで課題を解消。生産能力の抜本的強化を図ることができた。同業他社からの視察も増加し、業界全体の底上げにもつながった。今後は「ピーナッツのある食卓」を目指し、ギフト需要にも応えていく予定だ。

支援の経過

期間	支援内容
H27年3月	ものづくり補助金の申請支援
H28年3月	経営革新計画の承認
3月～	継続的な販路開拓支援など

会社概要

会社名：株式会社セガワ
 住所：千葉県匝瑳市野手1437-1
 電話番号：0479-67-3566
 URL：http://bocchi-peanut.jp
 代表者名：代表取締役 加瀬恵一
 創業年：昭和21年
 年間売上高：6億2000万円(平成29年)
 従業員数：30名
 商工会名・担当者名：匝瑳市商工会・向後豊